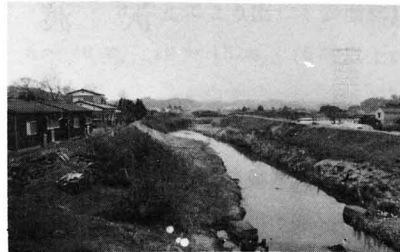


① 川原のようすや水の流れなどの
全景をスケッチする。

② 水の流れが大きく曲がっている
付近で岸がけずられているのは、
流れの内側か、外側か。

また、川原はどちら側にできて
いるか。



(3) 川原に下りて水の流れのはたらきを調べる。

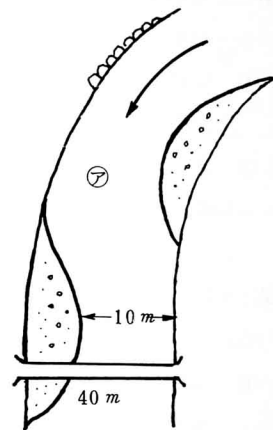
① ⑦の川原で、川原の近くと対岸とで、水
の流れはどちらが速いか。

② 川原から対岸に進むにつれ、川底の深さ
はどうかわるか。

③ 20 mの長さを取り、水の流れの速さを測
ってみる。

(4) 川のレキを調べる。

川原のレキや砂のつもり方の平均的な所を
選んで、1 mの方形枠で囲い、その中の、長
径5 cm以上のレキをすべてビニルシ
ートの上にとり出し(表面に見えて
いるレキのみ)、これらのレキを、
大きさや、形、種類で分けてみよう。



(5) 調べた結果を次のような表にまと
める。



大きさ (cm)			形			種 類	
5~10	10~15	15 ~	円	亜 円	角	花崗岩	緑色片岩
45	2	0	12	33	2	7	40
96 %	4 %	0 %	26 %	70 %	4 %		

好間川合流点付近

調べた結果を好間第一小学校の資料と比較し、レキの形、大きさが上流と下
流でどう変わったかを考察し、流水のはたらきについて理解させる。